

泰安半島 環境を愛する子ども芸術フェスティバル

—— 大韓民国 忠清南道 泰安半島 ——

2008年8月

Emanuel Pastreich パストリッチ エマニュエル

2007年12月に発生した韓国史上最悪の原油流出事故によって、大安の太古の自然が残る美しい海岸線は、分厚い流出原油の幕で覆われた死の海岸と化してしまいました。私たちはこの衝撃的な事故によって、あらためて石油への依存が漁業のみならず、世界全体にとって恐ろしい結末をもたらすことを再認識しました。この問題は、大人だけでなく子どもたちにも大きな意味をもちます。環境汚染や気候変動など、石油がもたらす諸問題によって未来に暗雲が立ちこめている現実を、私たちは子どもたちにどのように説明すればよいのでしょうか。

私たちの課題は、持続可能な世界を創造することであり、私たち自身の文化を作りかえることです。そしてそのためにまず、私たちは、小さな子どもたちと向き合い、あるべき世界のヴィジョンを示さなければなりません。そのヴィジョンは啓発的で創造的であるべく、この世界に再び新たな息吹を吹き込むことができるという希望と確信を与えるものでなければなりません。子どもたちが世界を変える道に踏み出したとき、その希望は親たち、地域、さらに社会全体に広がります。

2008年7月に開かれる「2008 泰安半島 環境を愛する子ども芸術フェスティバル」は、この石油で汚染された 泰安半島 の海岸に世界中から子どもたちと親たちが集う芸術の祭典です。

このフェスティバルは、高い芸術性を備えた様々な展示や企画を通じて、子どもたちが地球環境の問題を楽しみながら考えることを目的としています。

アンドレ・ヘラー氏によるマジカルな創造的空間、
〈LUNA LUNAフェスティバル〉の探検コースや、
世界各地からの15名(うち9名はアジアから)の芸術家による、じかにさわったり、登ったりできる立体的な楽しい作品の展示が予定されています。また、ヨーロッパやアジア各地から音楽家たちも集まり、世界各地のすばらしい音楽を披露してくれます。子どもたちは演奏の合間に楽器を手に取り、教わることもできるかもしれません。子どものために作られた映画やアニメも上映されます。子どもたちは、世界各地の芸術家たちが持ち寄った作品や音楽に触れながら、未来について考え、未来の創造につながる人間と自然、芸術についてのアイデアやヒントを得ることができるでしょう。

フェスティバル終了後、この場所には記念の建物が建てられ、環境問題を継続的に考えるモニュメントとなります。その建物は木と石でできた、子ども

もだけが入れる小さい建物で、中には木、水、植物、海などをイメージした小さないくつかの部屋が設けられる予定です。